



Vol.41

令和2年10月26日

討議資料

浜松市議会議員

ひらま通信



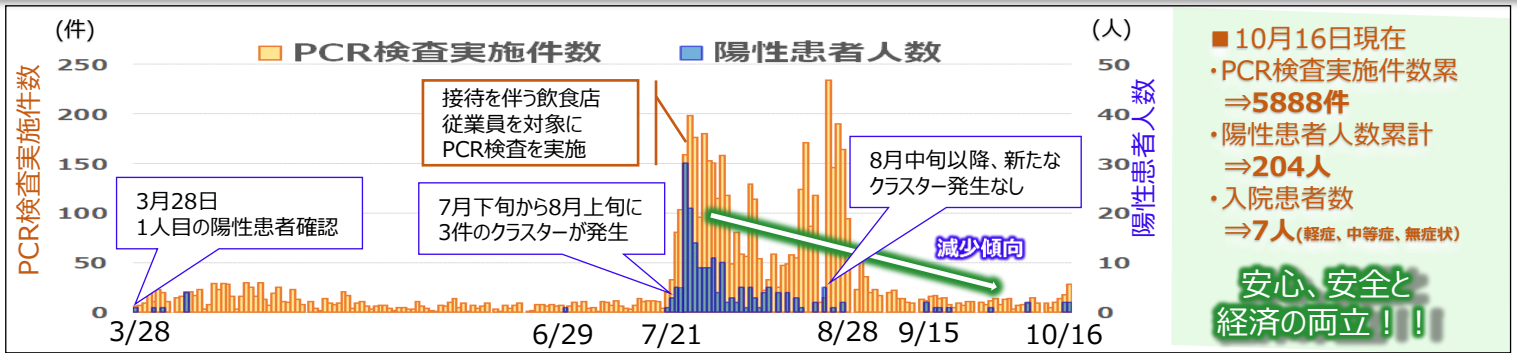
令和2年 第3回浜松市議会定例会報告

気温日本一を記録した暑い夏が終わり過ごしやすい季節を迎えました。さて、コロナ禍における市内の状況は7月に3カ所のクラスター発生以降、陽性患者数が急増し県内一となりましたが、下段のグラフが示すとおりPCR検査数並びに陽性患者数は減少傾向にあります。今後もインフルエンザとの同時流行で不安要素はあるものの感染拡大に備えた検査体制や医療体制を整えていますので、コロナ禍を正しく理解すると共に新しい生活様式の下で経済活動を活性化する必要があります。

浜松市議会では9月定例会にて補正予算審議のほか、令和元年度決算審議などを行いました。コロナ禍で私たちの仕事や勉強、生活スタイルは一変し都市部から地方回帰の流れも加速しています。これらの社会変化を受け、補正予算では国の「新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金」を活用した事業が多く議決されました。一例としてテレワーク推進事業、光ファイバ高速通信網整備事業、移住促進事業など、今後の浜松市の活性化につながるものと考えます。行政区の再編については長期間に及ぶ議論をへて、投票による全議員の意思確認を行いました。結果、必要という判断が3分の2以上となったことから、今後の特別委員会で具体的な再編議論を進めます。私は賛成の立場に立ち、限られた資源を有効に使った「効率的な行政運営」と「適正な市民サービスの提供」、市民協働促進のための「地域コミュニティの活性化」が図れるような行政区再編を提言してまいります。



■ 浜松市内における新型コロナウイルスPCR検査実施件数と陽性患者人数推移(3月28日～10月16日)



■ 感染症対策一部紹介

『混雑ランプ』

店舗、施設などの混雑状況が確認できる

『天電材活用事業』

非住宅建物における3密対策

『安心、安全な飲食店認証店舗の公表』

その他詳細内容はこちらからご確認ください

■ 安全運転サポート車(サポカー)補助金の拡充を求める意見書提出

【浜松市内交通事故内訳】

※事故の70%が追突、出会い頭

【同一車両における追突事故件数比較】

※チューリッヒ保険会社調べ

84%減少

サポカー機能非搭載車 / サポカー機能搭載車

※サポカー普及により大幅な減少が可能

【補助金総予算額】⇒1127億円

※問題

申請総額が予算額を超過した場合には申請締切前であっても募集が終了となってしまう

「意見書を国へ提出」

詳しくはこちらから⇒

- 1 サポカー補助金の予算を十分に確保すること
- 2 サポカーの補助金の対象を拡大すること

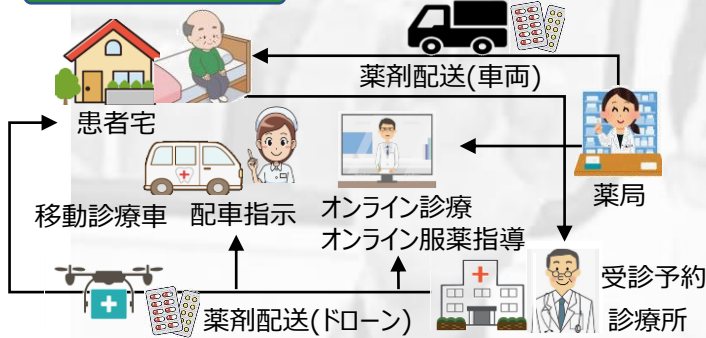
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して浜松を元気に！！（一部抜粋）

■ 中山間地域における医療MaaS推進事業

高齢者の通院や医師不足などの課題解決のため、モビリティと医療分野の連携により地域活性化を目指す

・春野地域においてオンライン診療などの実証実験を行う

実証実験イメージ図 ・令和2年10月～令和3年2月

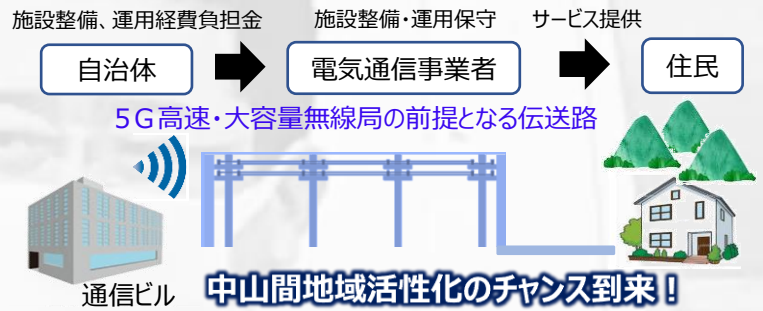


■ 光ファイバ整備支援事業

市内全域において在宅勤務、オンライン診療、学校教育、在宅学習のための情報通信基盤を整備しデジタルデバイドを解消する。
※デジタルデバイドとはインターネットなどの情報通信技術の「格差」

・市内の光ファイバ未整備地域の整備を行う(天竜区、北区が多い)

イメージ図



中山間地域活性化のチャンス到来！

■ テレワーク推進事業

市内企業のテレワーク導入促進や市外企業の呼び込みを図る

・テレワークを促進する拠点整備費用の助成

①経費(1/3以内、上限額10,000千円/件)
工事費、建物・施設取得費、実施設計費
機械備品購入費、賃借料(工事期間のみ)

②期間
令和2年4月1日～令和3年3月15日まで



■ サテライトオフィス誘致事業

首都圏を中心としたベンチャー企業に地方へ進出の検討を誘致する

・「浜松＝ベンチャーフレンドリーな街」というイメージを印象付ける動画の配信
・天竜トライアルオフィスお試しツアーなど

■ サテライトオフィス宿泊プラン事業

利用者専用の宿泊プランを創設する

・宿泊費の助成: 1/2以内、上限3千円/泊



■ 多拠点移住推進事業

ワーケーションの環境整備に対する支援を行い首都圏のベンチャー企業の誘致を図る

・多拠点居住実証実験
首都圏などからの来訪者を対象にテレワーク環境の提供に関する実証実験を実施



仕事は都市から地方へ！

9月補正予算主要事業はこちらから→



■ 行政区の再編に向けて

■ 行政区再編の必要・不必要について
浜松市議会全議員による無記名投票

結果：必要38票、不必要4票、退席4名



今後、具体的な再編案について議論していく！

《再編イメージ》
当局案



役所が遠くなって不便に...

『大丈夫です！』

- ・手続きの廃止
- ・簡素化
- ・在宅化を進めます。

■ 市税及び国民健康保険料スマートフォン決済収納事業

「LINE Pay」「Pay Pay」アプリによる納付手段の追加⇒令和3年4月～開始

・対象：市民、県民税・固定資産税・都市計画税・軽自動車税・国民健康保険料

①チャージ(入金)



②納付書のバーコードを取得



③支払情報確認 支払い完了

窓口やコンビニに行かなくても、いつでもどこでも納付できる！

■ 令和2年7月～10月活動紹介(一部抜粋)



本田技研労組浜松支部総会



ホンダ開発労組浜松分会総会



連合静岡海岸清掃



市議会コロナ対応アクリル板設置

【編集後記】

ひらま通信vol.41は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業や、行政区の再編などについてお届けしました。今後も皆さまの声をいただきながら、親しみやすく、活動内容が分かりやすい紙面づくりに邁進します。次回の「ひらま通信」もご期待ください。



全国本田労働組合連合会 静岡地方協議会
議長 高橋 淳一郎

〒433-8501 浜松市中区葵東1-13-1
(TEL) 053-436-5924

SNSで情報を発信しています

